

就任のごあいさつ

このたび、八幡平市長として2期目の市政を担当させていただきました。多くの方々からご支持をいただき、ありがとうございます。身に着けたいことと、重責に身が引き締まる思いです。八幡平市長として、私がこれまで取り組んできました4年間の実績や公約を皆さまに評価していただいたものと、厚く御礼申し上げます。

地方は、ますます厳しい時代を迎えており、これをどう乗り切るかが最大の課題だと考えています。次の世代に負担を回すことのないよう、より一層の行財政改革を進めて、健全に市政を運営し、改革に当たっても、行政サービスの低下にならないよう、柔軟に進めます。また、説明責任をしっかりと果たすため、さまざまな機会を通じて正しい情報を市民の皆さまにお伝えしていきます。

進めていきます。

公約としてお示しした施策では、JR大更駅周辺のにぎわいづくりに取り組んでいきます。駅を中心としたコンパクトなまちづくりは、国の方針にもなっているものです。

市の基幹産業である農業の振興では、ホウレンソウの価格補償制度が好評なことから、国の戸別所得補償制度の動向を見ながら他の品目への拡大などを検討します。観光分野では、イベント開催に加えて、秋田県鹿角市、小坂町と連携して広域観光圏としてPRしていきたいと考えています。また、平成28年の国体に向け、競技施設の整備や合宿などを通じた交流人口の増加を図ります。

子育て支援については、県内屈指の安さの保育料に加えて、小学生の医療費無料化などとともに、助産師を中心として妊産婦の指導を進めていきます。

時代とともに、市民のニーズも変化します。合併後4年間で培ってきた一体感をさら

に高めていくとともに、市民が何を望んでいるのかをとらえながら、地域を活性化する市民本位の市政を実現するため、皆さまの深いご理解と力強いご支援をよろしくお願い申し上げます。

市民の皆さまの期待に応えられるよう、恵み豊かな「農と輝の大地」をさらに発展させ、これまでの基盤をより確実なものとするため、与えられた4年間の任期を精いっぱい努めさせていただきます。

田村 正彦

みのり ひかり
**農と輝の大地で
市民本位の市政を目指し
2期目がスタート**



田村正彦市長

2期目の決意新たに

八幡平市長選挙執行日翌日の9月28日、田村正彦市長が登壇し、職員の出迎えを受けました。

市長当選証書付与式で、小山田惇公市長選挙管理委員会委員長から田村市長へ当選証書が付与され、田村市政の2期



目がスタートしました。

引き続き、マスコミ各社との懇談に臨み、2期目の市政の舵取りに向けての意気込みや政策などについて熱く語りました。

また、9月30日には職員へ訓示を行い「公約を実現し、より良い八幡平市にするため、皆さんと一緒にがんばっていききたい」と述べました。

八幡平市長選挙 前回よりも 投票率アップ

任期満了に伴う八幡平市長選挙は9月20日に告示されました。現職の田村正彦氏と、民主党県連が推薦する新人でフリーアナウンサーの川村龍雄氏の2人が立候補し、7日間の選挙戦が展開されました。

9月27日の投票日には、各投票所に多数の有権者が訪れ、八幡平市の未来を託す候補者へ一票を投じました。

午前7時から始まった投票は午後6時で締め切られ、7時45分から西根地区体育館で即日開票。午後8時41分に開票が終了し、田村正彦氏が1万226票を獲得し、川村龍雄氏に1199票差を付けて再選を果たしました。

投票率は77.38%（西根地区77.22%、松尾地区78.13%、安代地区77.02%）。17年に行われた前回の市長選挙と比較して、3.16%（西根地区1.74%、松尾地区5.72%、安代地区4.47%）高くなりました。

<開票結果>

④ 10,226票 田村 正彦 61歳 無所属・現
9,027票 川村 龍雄 51歳 無所属・新

<市長選挙のデータ>

		有権者数	投票者数	投票率
西根地区	男	7,090人	5,425人	76.52%
	女	7,556人	5,884人	77.87%
	計	14,646人	11,309人	77.22%
松尾地区	男	2,672人	2,110人	78.97%
	女	2,919人	2,258人	77.36%
	計	5,591人	4,368人	78.13%
安代地区	男	2,220人	1,753人	78.96%
	女	2,566人	1,933人	75.33%
	計	4,786人	3,686人	77.02%
合計	男	11,982人	9,288人	77.52%
	女	13,041人	10,075人	77.26%
	計	25,023人	19,363人	77.38%



八幡平市と子どもたちの未来を託し、一票を投じる有権者（第1投票所・大更公民館）